

行政評価(施策評価シート)

1 基本項目

基本目標2	安心して暮らせる支えあいのまち
基本施策2	安心を支える健康づくりと保健・医療の充実
施策11	保健・医療
基本方針	だれもが生涯にわたり健康に暮らせるよう、健康づくりへの自主的な取組みを促します。また、必要なときには質の高い医療が受けられるよう、地域の医療提供体制の充実を支援します。

2 指標(長期総合計画目標指標)

指標名	現状	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	目標値 (平成28年度)
指標1 「はむら健康の日」「健康フェア」の参加人数	4,047人 (平成22年度)	6,113人	5,824人	5,704人			5,300人
指標2 がん検診の受診率(対象人口率調査に基づく受診率)	15.00% (平成22年度)	16.70%	17.70%	16.50%			17.20%
指標3 3~4か月児健診の受診率	95.70% (平成22年度)	96.40%	96.30%	89.50%			98%
指標4 平日夜間急患センターの利用者数	1,012人 (平成22年度)	768人	732人	681人			1,300人

3 施策を構成する事務事業の実施・評価結果

No	事業名	実施結果			評価(所管課長)				指標に係る重点事務事業
		決算/円	執行率	進捗状況	妥当性	効率性	有効性	方向性	
1	健康はむら21第二次計画の策定及び推進	2,929,425	83.5%	計画どおり完了	○	○	○	A	
2	はむら健康の日・健康フェア	1,324,480	97.5%	計画どおり完了	○	○	○	A	*
3	ヘルスアップ健診	25,492,965	82.7%	計画どおり完了	○	○	○	A	
4	保健と運動を組み合わせた健康づくり講座	8,094	67.5%	計画どおり完了	○	○	○	A	
5	乳幼児健診	16,587,586	98.4%	計画どおり完了	○	○	△	B	*
6	予防接種	115,000,712	73.7%	計画どおり完了	○	○	○	A	
7	公立福生病院の運営支援	349,048,000	100.0%	計画どおり完了	○	○	○	A	*
8	がん検診の拡充	48,438,472	90.2%	計画どおり完了	○	○	○	A	*
9	30歳・35歳健康診査	470,864	60.2%	計画どおり完了	△	○	△	B	

4 施策評価

① 施策の評価

市民の健康づくりに対する意識の高揚を図るため、健康づくり推進員や関係団体と協働して「はむら健康の日」や「健康フェア」、管理栄養士による「健康づくりのための講座」のなどを実施し、市民の健康づくりに対する意識の高揚を図ることができた。

健康診査については、生活習慣病をはじめとする疾病を予防し、市民一人ひとりが健康で暮らしていくために乳幼児期から高齢期まで幅広く健診等を実施したが、30歳・35歳の健康診査の受診者数は計画目標値を下回り、3~4か月児健診の受診率についても低下しているため(目標指標3)、原因を究明し受診者(率)の向上を図っていく必要がある。

医療連携体制については、これまで公立福生病院への運営支援、市独自の平日夜間急患センターを運営してきたが、福生病院では夜間小児科を週2日行っていることや、3年前から青梅総合病院で平日夜間の診療を行うなど近隣市の医療体制における変化もあることから、平日夜間急患センターのあり方について、指標4に掲げた利用者数の実績の推移についても検証していく必要がある。

②今後の方向性(改善への取組み等)

市民の健康づくりに対する意識の高揚を図るため、今後も施策に掲げた事業を実施していく。
健康診査については、施策に掲げた事業のうち、受診率など低いものは、原因を究明するとともに、受診率向上に向けて事業の手法等について改善していく。
医療連携体制については、平日夜間急患センターのあり方について、近隣市の医療体制の変化、平日夜間のドクターの確保など課題について検討していく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	福祉健康部			健康課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
1	健康はむら21第二次計画の策定及び推進	平成 26 年	期間設定10年	自治事務	業務委託(一部)	○
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	2	安心して暮らせる支えあいのまち	施策区分	11	保健・医療	事業番号 1

2.事業の概要

事業内容	健康増進法に基づき、市民の健康づくりを推進するため、第二次健康増進計画を策定し推進します。
根拠法令	健康増進法
条例	羽村市健康増進計画「健康はむら21」審議会条例
要綱等	

3.成果指標

成果目標	平成26年度に第二次計画を策定し、平成27年度以降は、計画を積極的に推進する。
------	---

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	健康はむら21計画の推進 健康はむら21第二次計画策定に向けた意識調査	健康はむら21計画の推進 審議会(4回) 健康はむら21第二次計画の策定	健康はむら21第二次計画の推進	健康はむら21第二次計画の推進

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	200 H	1人	700 H	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	2人	100 H	2人	300 H	2人	100 H	2人	100 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	1,761	3,507	0	0
人件費(係長職)	1,019	3,507	501	501
人件費(主任・主事職)	736	2,177	726	726
総事業費(合計)	3,516	9,191	1,227	1,227
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	879	1,753	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,637	7,438	1,227	1,227
財源内訳(合計)	3,516	9,191	1,227	1,227

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	162	円
イ 対象者	56,732	人における1人あたりのコストは、	162	円
ウ 成果物	計画の冊子	の出来高	200	冊
		における1冊		のコストは
				45,955

※対象者 市民及び関係機関

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

平成25年度に実施した「健康づくりに関する市民意識調査」結果をもとに、市民検討部会、庁内検討部会で計画について検討し、さらに審議会において内容について審議等を行い、市長へ答申を行った。成果物については、医師会、歯科医師会、西多摩保健所等の関係機関や健康づくり推進員、町内会・自治会長等に配布した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	3,507,000	0	3,507,000	2,929,425	83.5%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
前計画(平成17年度～平成26年度)では、目標値をほぼ達成したものが39.3%であり、悪化しているものは21.4%であった。	前計画の評価をもとに、重点目標を2つから3つとした。また、市民意識調査や事業実績等をもとに目標を設定を行った。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性(必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性(手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性(成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性						
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> <td style="text-align: center;">→ [効率性]</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	→ [効率性]	D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当							
← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	→ [効率性]							
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討								
	低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
二次計画の策定終了したことにより、平成27年度からは、計画の推進を実施していく。「はむら健康の日」、「健康フェア」、「地域健康教育」において普及啓発なども行う。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	福祉健康部			健康課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
2	はむら健康の日・健康フェア	平成 18 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	2	安心して暮らせる支えあいのまち	施策区分	11	保健・医療	事業番号 2

2.事業の概要

事業内容	健康づくり推進員等との連携により、健康づくりの意識啓発を図るイベントを開催します。					
根拠法令	なし					
条例	なし					
要綱等	なし					

3.成果指標

成果目標	市民の健康づくり意識啓発を図るため、「はむら健康の日」と「健康フェア」の参加人数を平成28年度までに6,100人にする。
------	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	はむら健康の日 1回(2,464人) 健康フェア 1回(3,360人)	はむら健康の日 1回(2,500人) 健康フェア 1回(3,400人)	はむら健康の日 1回(2,550人) 健康フェア 1回(3,450人)	はむら健康の日 1回(2,600人) 健康フェア 1回(3,500人)

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	30H	2人	30H	2人	30H	2人	30H
主事・主任職	2人	400H	2人	400H	2人	400H	2人	400H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	1,242	1,359	1,359	1,359
人件費(係長職)	306	301	301	301
人件費(主任・主事職)	2,944	2,902	2,902	2,902
総事業費(合計)	4,492	4,562	4,562	4,562
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	677	679	679	679
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	3,815	3,883	3,883	3,883
財源内訳(合計)	4,492	4,562	4,562	4,562

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	80	円		
イ 対象者	56,732	人における1人あたりのコストは、	80	円		
ウ 成果物	参加者	の 出来高	5,704	人 における1人 のコストは	800	円

※対象者 市民

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか?

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

健康づくり推進員と夜間に会議を重ね、両事業とも計画どおり実施した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	1,359,000	0	1,359,000	1,324,480	97.5%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
講座や検診・測定、試食など様々な手法により市民の健康づくりの意識啓発の一役を担っている。	前年度の内容に加え、協力関係機関を増やし、参加人数の増加を図った。「はむら健康の日」は、前年度より601人増となったが、「健康フェア」は、前年度より721人減であった。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
市民	5,900人	⇒ 5,704人

Check【評価】

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性						
低	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		↑	→	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当									
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討										
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討										
		↓	低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
イベントを通して、楽しく学ぶことにより市民の健康づくりの動機付けとなっていると思われるため、今後も継続していく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	福祉健康部			健康課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
3	ヘルスアップ健診	平成 20 年	継続	自治事務	業務委託(一部)	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標 2	安心して暮らせる支えあいのまち	施策区分	11	保健・医療	事業番号	3

2.事業の概要

事業内容	40歳以上を対象に、特定健康診査とあわせてフォローアップ健診を行います。
根拠法令	健康増進法
条例	なし
要綱等	羽村市ヘルスアップ健康診査事業実施要綱

3.成果指標

成果目標	特定健康診査を補完するための健診を実施することにより、市民の健康管理を更に支援していく。
------	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	ヘルスアップ健診の実施 受診者数 8,447人	ヘルスアップ健診の実施 受診者数 10,050人	ヘルスアップ健診の実施 受診者数 10,454人	ヘルスアップ健診の実施 受診者数 10,767人

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	80H	1人	80H	1人	80H	1人	80H
主事・主任職	2人	200H	2人	200H	2人	200H	2人	200H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	25,134	30,827	32,067	33,026
人件費(係長職)	408	401	401	401
人件費(主任・主事職)	1,472	1,451	1,451	1,451
総事業費(合計)	27,014	32,679	33,919	34,878
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	27,014	32,679	33,919	34,878
財源内訳(合計)	27,014	32,679	33,919	34,878

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	576	円
イ 対象者	12,019	人における1人あたりのコストは、	2,719	円
ウ 成果物	受診者	の出来高	8,752	人
		における1人		のコストは
				3,734

※対象者40歳以上の男女

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか
 ※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

40歳以上を対象に、特定健康診査と併せて実施した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	30,827,000	0	30,827,000	25,492,965	82.7%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
40歳以上を対象に、特定健康診査と併せて詳細な検査を実施した。	前年度同様に加え、集団健診(1回)を実施したことにより、昨年度より受診者が315人増となった。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
40歳以上の市民	10,050人	8,752人

Check【評価】

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性					
低	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当								
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討									
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討									
		低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
 詳細検査(貧血、心電図、尿酸等)を健診者全員にすることにより、さらなる市民の健康づくりに繋がるため今後も継続していく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	福祉健康部			健康課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
4	保健と運動を組み合わせた健康づくり講座	平成 23 年	継続	自治事務(市独自)	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課	スポーツ推進課					
基本目標 2	安心して暮らせる支えあいのまち	施策区分	11	保健・医療	事業番号	4

2.事業の概要

事業内容	関係団体と連携して、保健・栄養などの学習と運動を組み合わせた健康づくりのための講座等を開催します。					
根拠法令	なし					
条例	なし					
要綱等	なし					

3.成果指標

成果目標	こころの健康も含め、市民への意識啓発や理解を広め、健康保持、増進につなげる。
------	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	健康づくり教室「あなたのための運動教室～筋力アップで貯筋アップ～」 健康・スポーツフォーラム(1回)	健康づくり教室(年2回)	健康づくり教室(1回) 健康・スポーツフォーラム(1回)	健康づくり教室(2回)

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	80H	1人	80H	1人	80H	1人	80H
主事・主任職	0人	0H	0人	0H	0人	0H	0人	0H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	62	12	62	12
人件費(係長職)	408	401	401	401
人件費(主任・主事職)	0	0	0	0
総事業費(合計)	470	413	463	413
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	10	10	10	10
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	460	403	453	403
財源内訳(合計)	470	413	463	413

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	7	円		
イ 対象者	56,732	人における1人あたりのコストは、	7	円		
ウ 成果物	参加者	の 出来高	46	人 における1人 のコストは	8,978	円

※対象者 市民

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか)

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

管理栄養士が中心となり、運動を組み合わせた健康づくり講座を2回実施した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	12,000	0	12,000	8,094	67.5%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
隔年で1回は、スポーツ推進課と共同で「健康・スポーツフォーラム」を実施している。	今年度は、健康課で運動の内容も取り入れた事業を2回を実施した。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
開催数	2回	2回

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性					
低	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当								
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討									
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討									
		低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
運動についても、こころを含め健康づくりに繋がることから、今後もスポーツ推進課や健康づくり推進員等と連携して講座等を実施していく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	福祉健康部			健康課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
5	乳幼児健診	昭和 62 年	継続	自治事務	直営	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標 2	安心して暮らせる支えあいのまち	施策区分	11	保健・医療	事業番号	5

2.事業の概要

事業内容	3カ月から3歳までを対象に定期健診を実施し、必要に応じて経過観察を行います。					
根拠法令	母子保健法第12、13条					
条例	なし					
要綱等	羽村市乳幼児健康診査実施要綱、羽村市乳幼児発達健康診査実施要綱、羽村市1歳6か月児健康診査実施要綱、羽村市3歳児健康診査実施要綱					

3.成果指標

成果目標	3～4カ月児健診の受診率を平成28年度までに98%とする。					
------	-------------------------------	--	--	--	--	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	乳幼児健診 3～4か月児健診の受診率 96.3%	乳幼児健診 3～4か月児健診の受診率 97.2%	乳幼児健診 3～4か月児健診の受診率 97.8%	乳幼児健診 3～4か月児健診の受診率 98%

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	144 H	1人	144 H	1人	144 H	1人	144 H
主事・主任職	9人	1,392 H	9人	1,392 H	9人	1,392 H	9人	1,392 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	16,727	18,038	18,038	18,038
人件費(係長職)	734	722	722	722
人件費(主任・主事職)	46,091	45,440	45,440	45,440
総事業費(合計)	63,552	64,200	64,200	64,200
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	4,315	4,048	4,048	4,048
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	59,237	60,152	60,152	60,152
財源内訳(合計)	63,552	64,200	64,200	64,200

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	1,132	円
イ 対象者	1,731	人における1人あたりのコストは、	37,088	円
ウ 成果物	受診者	の出来高	1629	人
		における1人		のコストは
				39,411

※対象者 生後3～4カ月の乳幼児

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

3~4か月児、1歳6か月児、3歳児健診をそれぞれ毎月、計画通り実施した。また、発育・発達等の経過を診る必要のある乳幼児に対し、経過観察健診等も毎月実施した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	18,038,000	▲ 1,182,000	16,856,000	16,587,586	98.4%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
3~4か月児健診の受診率は、平成23年度96.9%、平成24年度96%、平成25年度96.5%と96%前後を推移している。	今年度は、対象者457人に対し受診者408人であり受診率は89.5%であった。 1・6か月児健診は95.5%、3歳児健診は95.8%であった。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
市民(3~4か月児)	97.20%	⇒ 89.50%

Check【評価】

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	△

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性						
低	<table border="1"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	低	B
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当									
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討										
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討										

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
乳幼児の発育や精神の発達に関して適切な時期に必要な健診を実施することにより、乳幼児の健全な発達を図るため今後も実施が不可欠である。また、平成26年度は前年より受診率が7ポイント下がっているため、未受診者を対象に再呼出通知の発送だけでなく、原因も究明し受診率向上を目指していく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	福祉健康部			健康課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
6	予防接種	昭和不明年	継続	自治事務	業務委託(一部)	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標	2	安心して暮らせる支えあいのまち	施策区分	11	保健・医療	事業番号 6

2.事業の概要

事業内容	ポリオ、BCGなどの各種疾病を予防するための接種を行います。
根拠法令	予防接種法
条例	羽村市予防接種健康被害調査委員会条例
要綱等	羽村市先天性風しん症候群対策風しん等ワクチン予防接種実施要綱

3.成果指標

成果目標	予防接種を実施することにより、感染性の恐れのある疾病の発生及びまん延を抑制させる。
------	---

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	予防接種 A類定期11種、B類定期1種、任意2種を実施(先天性風疹症候群対策の風しん予防接種を追加)	予防接種 A類定期12種(水痘を追加)、B類定期2種(インフル、高齢者肺炎球菌が任意から変更)、任意1種を実施	予防接種 A類定期12種、B類定期2種、任意1種を実施	予防接種 A類定期12種、B類定期2種、任意1種を実施

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	48H	0人	48H	1人	48H	1人	48H
主事・主任職	9人	1,184H	9人	1,184H	9人	1,184H	9人	1,184H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	148,544	146,284	146,284	146,284
人件費(係長職)	245	0	241	241
人件費(主任・主事職)	39,204	38,650	38,650	38,650
総事業費(合計)	187,993	184,934	185,175	185,175
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	15,342	13,364	13,364	13,364
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	172,651	171,570	171,811	171,811
財源内訳(合計)	187,993	184,934	185,175	185,175

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	3,260	円
イ 対象者	56,732	人における1人あたりのコストは、	3,260	円
ウ 成果物	接種者	の出来高	16,029	人
※対象者	市民	における1人	のコストは	11,537

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

BCGは毎月、保健センターで実施し、その他の予防接種は市内医療機関において実施した。また、対象者には事前に予診票等を送付した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	146,284,000	9,759,000	156,043,000	115,000,712	73.7%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
A類定期予防接種11種、B類1種、任意2種の接種勧奨を行い、接種を実施した。	任意のうち1種がB類に変更となったが、前年同様に接種勧奨、接種を実施した。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】	高 [妥当性・有効性]	今後の方向性				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">B:事業の進め方の改善の検討</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> <td style="text-align: center;">→ D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	→ D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討	高 [効率性]	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当					
← C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討	→ D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討					
	低					

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
感染症の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防するため、今後も継続していく。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	福祉健康部			健康課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
7	公立福生病院の運営支援	平成 12 年	継続	自治事務	施行者への補助・助成	
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標 2	安心して暮らせる支えあいのまち	施策区分	11	保健・医療	事業番号	7

2.事業の概要

事業内容	福生病院組合を組織する羽村市・福生市・瑞穂町により、病院運営を支援します。					
根拠法令	なし					
条例	なし					
要綱等	福生病院組合同約					

3.成果指標

成果目標	公立福生病院の運営支援を通じ、広域的な医療連携の推進や医療の質とサービスの向上を働きかける。
------	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	運営支援	運営支援	運営支援	運営支援

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	36 H	2人	36 H	2人	36 H	2人	36 H
主事・主任職	1人	36 H	1人	36 H	1人	36 H	1人	36 H

②総事業費

事業費の内訳 (単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	400,027	349,048	349,048	349,048
人件費(係長職)	367	361	361	361
人件費(主任・主事職)	133	131	131	131
総事業費(合計)	400,527	349,540	349,540	349,540
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	400,527	349,540	349,540	349,540
財源内訳(合計)	400,527	349,540	349,540	349,540

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	6,161	円
イ 対象者	56,732	人における1人あたりのコストは、	6,161	円
ウ 成果物		の 出来高		円
※対象者	市民			

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

計画どおり定期的に負担金を支出した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	349,048,000	0	349,048,000	349,048,000	100.0%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
計画どおり定期的に負担金を支出し、病院運営を支援した。	前年度同様、負担金を支出し、病院運営を支援した。また、病院に対しての市民からの苦情等については、改善するよう要望した。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値

Check【評価】

8.評価

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	○
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	○

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	高 [効率性]	今後の方向性					
低	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>B:事業の進め方の改善の検討</td> <td>A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当</td> </tr> <tr> <td colspan="2">C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討</td> </tr> </table>	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		高	A
B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当								
C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討									
D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討									
		低							

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
市民が安全で良質な医療サービスが受けられるよう、一部事務組合を組織する自治体とともに今後も継続して支援していく必要がある。

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	福祉健康部			健康課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
8	がん検診の拡充	不明 年	継続	自治事務	業務委託(一部)	○
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標 2	安心して暮らせる支えあいのまち	施策区分	11	保健・医療	事業番号	8

2.事業の概要

事業内容	がんを早期に発見するため、実施体制や対象者、受診指導などの内容を見直し、がん検診の受診率の向上を図ります。また、平成26年度より休日に乳がんの集団検診を実施し、受診の機会を増やします。
根拠法令	健康増進法第19条の2
条例	なし
要綱等	羽村市乳がん検診実施要綱

3.成果指標

成果目標	がんを早期に発見し、治療につなげるため、受診率を平成28年度までに18%まで向上させる。
------	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	各種がん検診 受診率:17.7%(全体平均)	各種がん検診 乳がんの集団検診 受診率:17.8%(全体平均)	各種がん検診 乳がんの集団検診 受診率:17.9%(全体平均)	各種がん検診 乳がんの集団検診 受診率:18.0%(全体平均)

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	100 H	2人	100 H	2人	100 H	2人	100 H
主事・主任職	4人	3,000 H	4人	3,000 H	4人	3,000 H	4人	3,000 H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	47,643	44,629	44,629	44,629
人件費(係長職)	1,019	1,002	1,002	1,002
人件費(主任・主事職)	44,148	43,524	43,524	43,524
総事業費(合計)	92,810	89,155	89,155	89,155
国庫支出金	3,913	2,667	2,667	2,667
都支出金	64	69	69	69
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	88,833	86,419	86,419	86,419
財源内訳(合計)	92,810	89,155	89,155	89,155

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	1,572	円		
イ 対象者	38,540	人における1人あたりのコストは、	2,313	円		
ウ 成果物	受診者	の 出来高	10,611	人 における1人 のコストは	8,402	円

※対象者 40歳以上の男女及び子宮頸がん20歳以上

平成26年度【基本シート】

1.基本項目		作成部署	福祉健康部			健康課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	進行管理
9	30歳・35歳健康診査	平成 26 年	継続	自治事務	業務委託(一部)	○
	01	年				
	02	年				
	03	年				
	04	年				
	05	年				
関連課						
基本目標 2	安心して暮らせる支えあいのまち	施策区分	11	保健・医療	事業番号	9

2.事業の概要

事業内容	30歳と35歳の市民の方で健康診査を受診する機会がない方を対象に、生活習慣病に着目した節目の健康診査を実施します。
根拠法令	健康増進法
条例	なし
要綱等	羽村市30歳・35歳健康診査実施要綱

3.成果指標

成果目標	将来、生活習慣病にならないため、早期の健康診査を実施し、受診者の増加を図る。
------	--

4.活動指標

Plan【計画】	平成25年度(現況)	3か年計画		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業内容 事業量等	30歳・35歳健康診査の実施 検討	30歳・35歳健康診査の実施 受診者数 445人	30歳・35歳健康診査の実施 受診者数 450人	30歳・35歳健康診査の実施 受診者数 460人

5.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①人件費【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	24H	2人	24H	2人	24H	2人	24H
主事・主任職	2人	240H	2人	240H	2人	240H	2人	240H

②総事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	0	3,584	3,584	3,584
人件費(係長職)	245	241	241	241
人件費(主任・主事職)	1,766	1,741	1,741	1,741
総事業費(合計)	2,011	5,566	5,566	5,566
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	1,790	1,790	1,790
受益者負担額	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0	0
起債	0	0	0	0
一般財源(人件費含む)	2,011	3,776	3,776	3,776
財源内訳(合計)	2,011	5,566	5,566	5,566

③コスト計算

ア 市民	56,732	人における1人あたりのコストは、	98	円
イ 対象者	1,338	人における1人あたりのコストは、	4,160	円
ウ 成果物	受診者	の出来高	45	人
		における1人		のコストは
				123,689

※対象者 30歳、35歳の男女の市民

Do【実行】 【進行管理】

6.実施結果(活動指標と投入指標の結果)

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①活動実績(Plan【計画】)及び事中評価における改善について本年度どのような活動を実施したか

※計画を見直し完了、遅延、中断となった場合は、理由、内容などを記入すること。

平成26年度中に30歳、35歳になる市民を対象に、計画どおり(6月～10月)に実施した。

②投入実績

決算の内訳(単位:円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	3,584,000	▲ 2,802,000	782,000	470,864	60.2%

7.成果結果

①活動、投入実績から生じた成果(物)

前年度(今までの状況)	今年度(どういう状態になったか)
未実施	今年度から実施し、45人が受診した。

②成果指標(目標値)を数値化している場合

対象者(物)	本年度:目標値	本年度:実績値
市民(30歳・35歳)の男女	445人	45人

Check【評価】

◎・・・適切であるが、今後、より効果的に改善するもの

○・・・適切なもの

8.評価

①事業評価(改善等、課題を発見する視点) △・・・課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	評価のポイント	項目の着眼点	課長評価
妥当性 (必要性)	・上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業か ・今の社会情勢に見合う事業内容となっているか ・利用者・対象者のニーズ(需要)はあるか	施策体系に結びつくか、事業の必要性はあるか	△
効率性 (手法)	・活動手法を見直し、人件費・事業費の削減余地はないか	成果を落とさず、最少の経費・労力で事務が執行されているか	○
有効性 (成果)	・事業の目標が達成されているか	成果又は効果が表れているか	△

②事業評価(今後の方向性についての視点)

【今後の方向性】		高 [妥当性・有効性]	今後の方向性
低 ←	B:事業の進め方の改善の検討	A:計画どおりに事業を進めること、又は、より効果的に改善して進めることが適当	高 [効率性] →
	C:事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討		
	D:事業の抜本的見直し、休止・廃止の検討		
		低	B

③事務事業から導かれる今後の方向性と課題

評価(所管課長)
若い世代の市民に健診機会を提供することは、健康に対する意識を向上させ、生活習慣病発症の予防につながり、医療費の抑制も期待ができることから必要であると考え。また、特定健康診査(40歳以上)に繋げるためにも今後も実施していく。
周知を広報、市公式サイトで行ったが、受診者が少なく、対象者に十分に情報が届いていない可能性があるため、個別に勧奨はがきの送付を検討していく。